9月定例会の報告

田中明市長再選　2期目スタート

8月30日に執行された市長選挙で、現職の田中明氏が再選されました。

定例会初日の9月7日の本会議では、田中明市長が、これからの市政運営に当たっての所信を述べられました。

高山市議会YouTubeチャンネルから9月定例会「本会議（開会日）」映像内に市長所信があります。☞



市長所信（4分45秒～）

令和7年度決算を審査

第九次総合計画（R 7年度～ R 16年度）の初年度となる令和7年度決算の一般会計については、歳入額675億2千9百万円、歳出額639億7千6百万円で35億5千3百万円の黒字となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は28億2千2百万円となりました。

また、国民健康保険事業特別会計から後期高齢者医療事業特別会計までの特別会計6会計については、各会計とも黒字で、企業会計2会計については、水道事業会計は純利益5千6百万円、下水道事業会計は純利益0円となりました。

予算決算特別委員会におきましては、こうした決算の状況を踏まえ、第九次総合計画に基づく各種施策について、予算が適切かつ効率的に執行されているのか、どんな成果があったのか、令和7年度の新規・拡充事業の進捗はどうであったか、決算を次年度の事業執行や予算編成にどう生かしていくのかなど、予算と決算の連動性という観点から、決算書はもとより、主要施策実績報告書、事業評価シート、監査委員の決算及び基金の運用状況等に係る審査意見書等を参考にしながら、各常任委員会で論点整理を行い、幅広い見地から慎重に審査を行いました。

審査の結果、令和7年度高山市一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業特別会計から後期高齢者医療事業特別会計までの特別会計6会計、水道事業会計及び下水道事業会計の企業会計2会計いずれも全員一致で、原案どおり認定すべきものと決しました。